

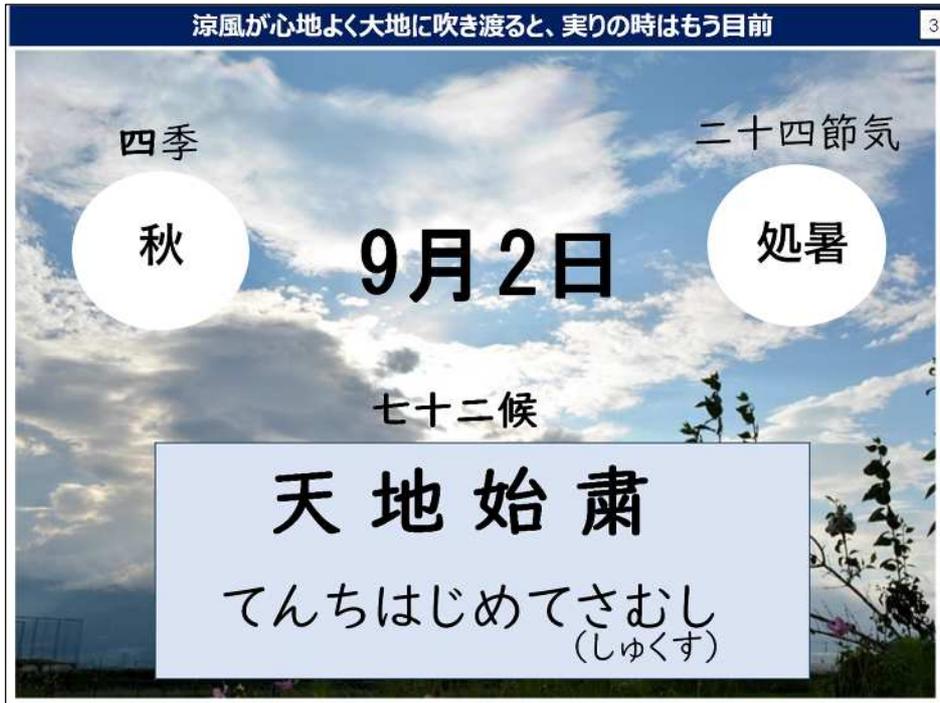
令和6年9月2日(月)
2学期始業式

自分時間をいかに生み出すか・武陵祭に燃えるものは受験に燃える!

校長 下村 昌弘



- 全校の皆さん、おはようございます。校長の下村昌弘です。
- 2学期の始業式にあたり、一言、挨拶をいたします。
- 夏の総括と2学期の展望については、武陵祭後、改めて、ゆっくりとお話することにして、今日はこの後の活動もありますので、手短に納めたいと思います。
- 台風一過。天気が回復しました。始業式の日程は延びましたが、図らずも、1日自由に使える日が取れて、かえっていいスタートが切れそうです。
- 休校日、佐賀県には、台風の目立った影響もなく、何よりでした。
- こういう日には、自分がしたかったことに、自由に時間が使えるので、かえってよかったと思います。
- 部屋の片づけ、読書、映画鑑賞、やりたかった分野の勉強など、有効に使える時間が手に入って、満ち足りた気持ちになれたのではないのでしょうか。
- ということは、普段の生活の中でも、いかに自分で自由に使える時間を確保するか、そのために、やらなければならないことを手際よく片付けようということにつながるかと思います。
- つまり、自分時間をどう生み出すか。これを考え、実行していくことで、生活の質的向上につながるのだと思います。



- さて、今日、9月2日は24節気でいうと処暑。処暑とは暑さが収まるという意味です。72候では「天地初めて肅す」、「肅す」は「さむし」とも読みます。「さむい」とは少し大げさな言い方ですが、おせ返るような、夏のあの猛暑は、もう過ぎました。
- 涼しい風が心地よく吹き始めると、実りの秋はもう、すぐ目の前です。
- 明日からは、「こくもの すなわち みのる」、という次の季節に移ります。「登」と書いて「みのる」。



- 2学期は実りの季節です。その2学期はまず武陵祭からスタートします。
- 学校祭は「探究活動」の最たるものです。課題設定(自分の役割では何をすべきか)、情報収集(それをするにはどういう方法があるのか調べる)、整理分析(どう考え、どう決断するか)、

まとめ表現(実際に決断したことをやってみる)。

- 短い期間ですが、主体的に一人一人が自分の役割を果たしながら、全力で取り組む。
- そしてその一人一人のエネルギーを結集させて、みんなで素晴らしい学校祭を作り上げてください。

- 武陵祭に燃える者は受験に燃える。学校祭に燃えられない人が受験に燃えられるわけがありません。
- 短期集中。全力で取り組んでほしいと思います。頑張ってください。以上です。